

もっと 知ろう

みんなの議会



中城村

議会だより

題字:津覇小学校5年 ^{もと}新垣 ^{とき}元基

島にんじん旬入り宣言!! 11月11日 (島にんじんの日)

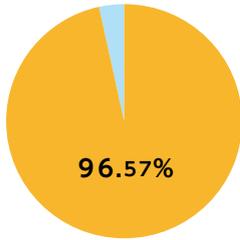


vol.53

写真

11月11日に行われた
島にんじん旬入り宣言
セレモニー!





執行率 96.57%



一般会計歳入：71億607万5,731円 差引残額：2億4,402万9,866円

決算額：68億6,204万5,865円

特別会計総額：48億846万6,660円



国民健康保険特別会計 (国保の診療に使ったお金)

歳入：28億1,684万2,247円
歳出：27億6,974万2,346円
差引：4,709万9,901円



後期高齢者医療特別会計 (高齢者の医療に使ったお金)

歳入：1億2,923万2,189円
歳出：1億2,808万6,621円
差引：114万5,568円



公共下水道事業特別会計 (生活排水を適切に流すために使ったお金)

歳入：3億6,646万2,078円
歳出：3億6,438万7,996円
差引：207万4,082円



土地区画整理事業特別会計 (地域をより住みやすくするために使ったお金)

歳入：9億3,712万9,141円
歳出：7億2,769万3,266円
差引：2億943万8,815円



汚水処理施設管理事業特別会計 (地域の生活排水処理に使ったお金)

歳入：437万8,449円
歳出：385万2,586円
差引：52万5,863円



水道事業会計

(村民に安全な水を提供するために使ったお金)
収益的収入：5億1,642万2,556円
収益的支出：4億7,492万4,090円
資本的収入：3,800万円
資本的支出：1億7,062万1,842円

平成28年度に中城村が使ったお金

平成28年度決算認定

平成29年第4回中城村議会定例会
(平成29年9月8日～9月29日)

予算の使い道、議会が厳しく審査しました。 平成29年第4回定例会決算審査報告

一般会計

- ①施設型、地域型給付費負担金は、認可保育園の設置者に対し待機児童の解消を図る事を主たる目的に交付される補助金であるが、全体的に保育士不足により2,666万1400円の不用額が発生した。事前に設置者と予算の有効な執行に今後とも務めることを指摘する。
- ②不法投棄対象事業の関連費用において約48万円の不用額が発生している。不法投棄廃棄物は、その後も散在的に村内で確認されており、巡回パトロールの強化、監視カメラの増設、防止を呼び掛ける看板等の設置、モラル向上に更に務めること。
- ③給食調理が停止された際、緊急時対応の不備が指摘されたため、専従所長の配置を早急に求める。また、中城南小学校の児童数の増に伴い、調理場の負担増が見込まれるため、人員配置の拡充を求める。
- ④ここ数年、社会教育主事の不在が指摘されている。法令上配置が定められており、早期の配置と資格保持者の育成を図るよう求める。

国民健康保険特別会計

- ①年々、国保税の収納率が向上しており評価できるが、今後、国保が広域へ移行するに当たり、国保税の負担割合が懸念される。広域化に関しては、今後、尚一層、保険者への説明と理解の浸透を図るよう求める。

公共下水道事業特別会計

- ①公共下水道は南上原地区の整備促進により、水洗化率が44.97%になったことを評価する。

土地区画整理事業特別会計

- ①南上原地区の土地区画整理事業の早期完了を目指すこと。
- ②南上原地区土地区画整理事業での、土地換地作業早期完了も計画的に行う事を指摘する。

汚水処理施設管理事業特別会計

- ①今後、施設及び排水管等の整備改修計画を策定し、老朽化を見据え資金計画を行うこと。

水道事業会計

- ①老朽施設の早期改善と漏水量減に取り組みを行うこと。
- ②本村の人口増に伴う、施設管理に対する中長期計画を執行し、貯水槽も計画的に取り組む事を指摘する。

第4回定例会に上程された 議案、同意、報告、陳情、意見書

可決
議案第35号
中城村農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意

可決
議案第37号
中城村固定資産税の課税免除等の特例に関する条例の一部を改正する条例

可決
議案第39号
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
補正額: 4,735万7千円
総額: 28億3,240万2千円

可決
議案第41号
土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
補正額: 1億3,852万4千円
総額: 7億3,992万9千円

可決
議案第43号
汚水処理施設管理事業特別会計補正予算(第1号)
補正額: 52万5千円
総額: 297万8千円

同意
同意第3号
固定資産評価審査委員会委員の選任: 島袋博光氏

同意
同意第5号
農業委員会委員の任命: 新垣勇氏

同意
同意第8号
農業委員会委員の任命: 比嘉盛安氏

報告
報告第6号
平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告

報告
報告第8号
平成28年度決算に係る資金不足比率(土地区画整理事業特別会計)

報告
報告第10号
平成28年度決算に係る資金不足比率(水道事業会計)

採択
陳情第10号
こどもの医療費助成制度に係る意見書採択についての陳情書

採択
意見書第7号
こどもの医療費助成制度改善を求める意見書

可決
議案第36号
中城村税条例等の一部を改正する条例

可決
議案第38号
平成29年度一般会計補正予算(第3号)
補正額: 4億7,093万7千円
総額: 76億4,568万3千円

可決
議案第40号
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
補正額: 149万円
総額: 1億2,699万1千円

可決
議案第42号
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
補正額: 121万2千円
総額: 3億1,456万4千円

可決
議案第44号
平成28年度水道事業未処分利益余剰金の処分

同意
同意第4号
農業委員会委員の任命: 新垣秀則氏

同意
同意第6号
農業委員会委員の任命: 与儀正佳氏

同意
同意第7号
農業委員会委員の任命: 花城康樹氏

同意
同意第9号
農業委員会委員の任命: 安里勝氏

報告
報告第7号
平成28年度決算に係る健全化判断比率

報告
報告第9号
平成28年度決算に係る資金不足比率(公共下水道事業特別会計)

採択
陳情第6号
地元産品奨励及び地元企業優先使用(要請)

採択
陳情第7号
県産品の優先使用(要請)

採択
陳情第11号
国保県単位化における国保制度改善を求める意見書採択についての陳情書

採択
意見書第8号
国保財政の県移管における国保制度改善を求める意見書

村政を問う！

一般質問

平成29年9月定例議会

※質問者が会議録から要約した
原稿を編集しています。



比嘉 麻乃 議員

子育て支援

議員 紙オムツを多く使用する3歳未満のお子様を育てる家庭に対し、燃えるごみ用指定袋50枚を配布する考えはないか。

村長 議員の子育て真っ最中の代表的な意見として真剣に考えますがどういふふうにやっていくかはこれから検討させていただきます。では是非期待して下さい。

福祉課長 ごみ袋の無料配布に関しては、環境係と相談しながら検討していきたいと思えます。

議員 新庁舎に「子ども課」を設置する考えはないか。
村長 来庁者が利用しやすいような形にしていくことはお約束できると思っております。
都市建設課長 新庁舎の設

計計画は各課の間に仕切りを設けず棚で区切っており、将来的な機構改革に柔軟に対応しやすい計画となっております。

北上原渋滞解消

議員 消防学校近く県道29号線の北向け車線の渋滞解消法はないか。

都市建設課長 渋滞緩和を目的に右折帯の要望を中部土木事務所に行ったところ「現地調査の上、村や関係機関と連携しながら検討していきたい」と回答があったので、今後渋滞解消を目標に継続的に要望していきたいと考えております。

議員 この箇所は対向車線と同時に赤信号に変わるのど時差をつける考えはないか。

住民生活課長 その辺に關しての要請は検討したいと思えます。

防災対策

議員 平成28年に本村で実施した避難訓練を伺います。

総務課長 土砂災害や地震・津波避難訓練を実施しており、今後も継続したいと考えております。

議員 本村の4小中学校で実施している避難訓練を伺います。

教育総務課主幹 内容は不審者対応、火災対応、そして地震・津波対策の避難訓練を行っております。

議員 地震や津波で避難指しが発令された場合、児童を引き渡す避難場所を保護者へ伝えていくか。

教育総務課主幹 マニュアルには記載されていますが、保護者へ避難場所を知らせておく必要はあると思えます。

校長会でしっかり確認します。

議員 防災用グッズの保管場所は、何ヶ所か何人分か。

総務課長 護佐丸歴史資料図書館備蓄倉庫と役場内の二カ所で保管しており、備蓄食料は約1000人分の3日分を保管しております。

各小中学校の環境整備



大城 常良 議員

議員 洋式トイレへの改修を小中学校、各100万円の予算が計上されたが改修状況は、また、トイレ全体の改修も必要だと思いが予定はあるか。さらに津覇小のプール施設には職員用の更衣室とシャワールームがなく、故障があるが改善する予定は。

教育長 教育環境の整備は子供たちがすくすく育つため、そして子供の教育をしっかりと育てるために重要だと考えます。

教育総務課長 現在小中学校とも改修場所及び改修内容の調整を行い、中学校では改修を進めており10月までに6基、中城小3基、津覇小3基改修を終わる予定です。トイレ全体の改修になると予算的に補助事業がないか考えていきたい。そしてプー

中城村浜漁民集落センターの管理、運用は

議員 運用状況と浜自治会以外の個人でも使用許可申請書を出したら許可できるのか、伺います。

農林水産課長兼農業委員会事務局長 浜自治会の方で管理・運用をしております。約60件使用しています。そして使用許可については原則個人に使用をはいませんが管理する浜自治会との協議の上、自治会に判断は任せています。

議員 個人的に集落センターを使って物品販売すると条例、及び規則第3条にある専ら営業利用してはならないとありますので自治会の話も聞きながら、今後とも注視していきます。

子どもの貧困について

議員 本村では子どもの貧困の実態を把握することを目的にアンケート調査を行い、本村の貧困率が18.2%という結果がでました。貧困対策支援制度を利用して多くの支援を行っています。が、いまだ就学支援制度を知らない世帯が32%もいます。周知を徹底するための対策は、また、貧困の連鎖を解消するための支援策を伺います。

村長 今回、積極的にアンケート調査を行い、そして情報公開を行うことでこれからの対策に役立てるよう大変評価をしております。今後も積極的に関与してしっかりとバックアップしていきます。

教育総務課長 申請書と案内を早めに配布すること、他の市町村の状況も確認しながら参考にしていきたい。

福祉課長 支援策として子供の居場所づくりを児童館と中学校で実施し、無料塾を開講して進学、就職に向け支援を行っていきたくと思えます。

議員 貧困対策の十分な支援、新たな貧困家庭を生まないうために、行政として更なる政策を強く要望します。
※他に、農業行政の質問がありました。



石原 昌雄 議員

防犯灯などの
地域安全対策

議員 地域安全対策ですが、街灯の設置や防犯カメラの設置が急務です。
①沖縄安全対策事業の進捗状況を伺います。
②各字ごとの設置計画はどうか。
③地域の公園の防犯対策はどうか。
村長 防犯カメラ等の設置は、急務ということは認識しており、積極的に防犯灯、防犯カメラ等は推進していきたい。
都市建設課長 防犯灯は6月7日に工事発注、防犯カメラは10月中旬に工事発注予定です。
防犯灯は全体で365ヶ所、防犯カメラは9自治会で20ヶ所設置予定です。公園は、吉の浦公園に防犯灯10ヶ所、糸蒲公園に防犯カメラ1ヶ所を予定しています。
通学路等での犯罪発生が多いことから、通学路や村道への防犯灯、防犯カメラの設

置を優先しております。
議員 南上原地区の具体的な計画を教えてください。
都市建設課長 南上原については、土地区画整理事業に伴って、坂田線1.3キロに防犯灯の工事を発注して、3月に完成します。

吉の浦公園整備計画

議員 吉の浦公園は、当初の整備から長年の経緯があり、再整備が求められます。①機能強化整備基本計画策定の進捗状況を伺います。②策定委員会はありますか。どのようなメンバーが構成か。③教育委員会として特に強化する整備はあるか。
教育長 8月17日付で基本計画策定委託業務計画を締結しました。策定委員会は、学識経験者、村内各団体、議員、教育委員、施設利用者等からの代表者、村行政職員、14名以内で構成する予定です。

中城城跡と観光客

議員 中城城跡観光への利便性の向上と観光客にもっと記念になったりするように工夫や取り組みができませんか。
議員 今回の整備計画は、吉の浦会館を含む吉の浦公園全施設の機能強化を図ることを目指していきたい。

いか。①来客者が記念になる物品の販売はできないか。②城跡内で記念写真のポイントを案内表示し、中城城跡での思い出となるような仕組みはできないか。③来客者がリピーターになるような仕掛けはできないか。④村民が年に一度は家族等で訪れることができるような無料チケットの発行を行い、村民が中城城跡リピーターとなる仕組みはできないか。
企業立地・観光推進課長 来場者記念品の販売は今後必要だと思います。中城城跡記念写真を撮影するために、現在入り口の城跡来場者記念ボードを設置しております。場内に記念写真撮影ポイントの表示については生涯学習課と慎重に検討します。村内リピーターは私も必要と考えています。

年1回の無料チケットの発行については、中城城跡管理協議会に提案してみたいと思っています。
議員 今後のグスク案内の育成計画があるか。
企業立地・観光推進課長 グスクボランティアガイドについては、生涯学習課の一環だといふふうな認識をしておりますが、今後観光関係の人材も確保しなければならぬ状況ですので、生涯学習課と協議、検討していきます。



金城 章 議員

村道環境整備へ
助成金を

議員 村道安里中央線、当間前原線、屋宜被留線は道路近隣の住民「安里、当間、屋宜」の各住民によつて除草、花植え等の管理を行っている現状である。
そこで各自治会へ花代や肥料等の助成をし、又は支給とか助成金を考えていた方がいいかどうか。
都市建設課長 安里老人会からでもいいですし、各自治会からでもいいです。ただ花代、肥料代が必要であれば支援事業で出していきたいです。又、農林水産課でも緑化運動で花がもらえますので村道にいっぱいの花を咲かせて下さい。

議員 今後は個人の出費でなく各自治会で助成金を申請して村道をいっぱいの花を植えていただき道路を通る皆さんが心穏やかな

村道にしていたきたいと思つています。その事業各地域に連絡し利用するように是非取り組む事を願っています。

下地区の人口増の計画は

議員 南上原の都市計画を完了目前であるが、今後下地区への生活環境整備、又は計画をどう考えるか。
都市計画課長 次のポスト

南上原はと考えると上地区に人口が一極集中しているかとの議論しないと次の展開ができないと思つています。それと新役場庁舎周辺は、タウン地区ということ

で住宅地にしたほうがいいのではないかとということ。今改正中のマスタープランには取り入れたい。しかし、次のポスト南上原は登又地区か当間地区なのか。ただ今的那覇広域の中ではとて

も新庁舎周辺の開発が厳しいところになっています。
議員 是非、今の課長の答弁の様に新庁舎周辺の下地区への計画を進めていただきたいと思つています。村長は下地区の整備開発をどう考えていますか。
村長 下地区においては法律の範囲内では可能なものは優良田園住宅の受け皿それ

と緩和区域程度の受け皿かございませぬ。下地区に住宅を建てて、そして人口が増えて活性化が拍車をかけるには法律を変える。都市計画区域をどう求めていくか、那覇広域の離脱まで踏み込んで話を進めるか、これが現実に伴うのかどうかは別として、土地の選択肢を広げるといふのは、その一点だけでございます。今後は私は任期中も含めて一生懸命取り組んで、抜本的に解決をしていく術をいろいろな力を利用してやっていきたいと思つています。

新庁舎の完成は

議員 新庁舎の完成はいつか。
都市計画課長 今年度は基本設計の予定であります。来年8月以降に事業着手し約2年で工事完了予定です。平成33年1月頃より引越越してできると思つています。

※他に災害対策浜地区、南浜、北浜の対策、県道29号線北上原から登又までの改良計画、東西道路の要請の質問がありました。



新垣 博正 議員

平和教育の充実に向けて

議員 中城村内における沖繩戦体験者の聞き取りや戦跡地調査の進捗状況及び平和ガイドの養成についてどのような取り組みをされたか伺います。

教育長 村で起きた沖繩戦の実態を明らかにし、記録に残すことは平和教育の充実に向けて重要と考へます。平成29年8月時点で、北上原、南上原、登又、新垣、和宇慶、屋宜の方々109人より聞き取り調査を終え奥間、伊集の聞き取り調査を現在進めております。平和ガイドの養成については取り組みがされておりません。今後調査により事実関係が明らかになった段階で平和ガイドの養成を考えていきたいと考へます。

る方を養成していくことは絶対必要だと思ひます。その他にもフィールドワーク等で活用できるパネル説明板等の教材が必要になると考へるが取り組み考へはないか。

教育長 現在は取り組みがしていませんが、一括交付金事業で整備する村指定戦争遺跡161・8高地陣地については説明板までセットで設置予定です。

子どもの貧困問題 解消に向けて

議員 5月に実施した小学5年生、中学2年生を対象としたアンケート調査の結果から、全体を通して18.2%が貧困層にあたる事が浮き彫りとなった。当局の率直な感想を伺います。

村長 報道では、いざなぎ景気を超える景気だといわれているようですが、実感がありません。同時に今回の調査結果が現実であり、子どもの貧困対策にはしっかりと取り組んでまいります。

議員 貧困世帯層では約50%が赤字で生活、48%が



ぎりぎり生活、余裕があるのは2%という結果をどうとらえるか。

福祉課長 結果を踏まえ大変厳しい状況にあると受け止めています。アンケートの中に「あなたは将来、夢がありますか」の問いに「無い」と回答した小学生90%、中学生67%となっており経済的状況が影響していると考えられます。子どもたちが夢を持てるような政策に取り組んでまいります。

※その他にごみの不法投棄問題についての質問がありました。



伊佐 則勝 議員

土砂災害

議員 去る6月19日の豪雨災害の村内での発生状況は。

総務課長 記録的な大雨により、村内でも多くの災害が起きております。村が把握している部分で道路の洗掘4カ所、道路の冠水及び河川、排水路の氾濫が24カ所、土砂災害が7カ所、家屋及び敷地内への浸水が52件です。

都市建設課長 都市建設課が行った調査では、被害状況は全17件、うち道路洗掘が4件、地すべりが6件、道路冠水及び河川氾濫が7件発生し対応しています。床上浸水した住宅は5軒把握しており、4軒は奥間後線沿い付近住宅、1軒は浜線沿い付近住宅で、いずれも河川氾濫が原因での被害です。

農林水産課長 農林水産課では下地区の6カ所で、氾濫による農作物の被害が

ありました。

議員 今回の豪雨でかなりの場所、土砂崩れが発生しているが、村内斜面地帯が県土木部の中頭東部地区地すべり対策対象地区となつているが、今後の対策について協議がなされているか。

都市建設課長

今回の河川氾濫の原因は、奥間地区上部斜面が崩れ、土砂が河川に流入したことで本来の機能を果たすことができなくなつた為だと思われま

す。奥間地区は中頭東部地区地すべり危険箇所の一つであり、土砂災害警戒区域に指定されています。村としては、地すべり対策工事が必要だと考へていますので、地すべり防止区域指定に向け、県と調整を行つていきたいと考へています。

議員 「森の郷おくま」の開発行為に対し、復旧防災計画に基づき復旧工事の矢先、更に広範囲の土砂崩れが発生しました。県の指導はあつたか。

農林水産課長

復旧防災計画の中で県が今後も指導していく予定です。

治山事業

議員 農水省の治山事業予定地として奥間地区で3カ

所があげられているが、土砂崩壊防止対策事業の地権者への説明、同意作業等について業務計画の策定は成されているか。

農林水産課長 業務計画の作成はまだですが、地権者への説明、同意作業は継続して行つていきます。

都市計画 マスタープラン

議員 将来のまちづくりの指針となる中城村都市計画マスタープランの策定状況は。

都市建設課長 新たな都市の将来像を描くため見直しをし、平成29年から20年後の平成49年を目標年次として策定中で、10月中には改訂のマスタープランの議員説明会を予定しています。

学校防犯システム

議員 学校防犯システム「ツイタもん」利用の導入状況は。

教育総務課長 9月現在で津覇小75名、中城小13名、中城南小179名の児童がICタグの利用を申し込んでいます。中学校は防犯カメラのみの活用になっています。



議員 昔は、向こう三軒両隣で隣の人の暮らしが良く見えたものです。それが近年は都市化しビルが立ち並び隣にどんな人が住んでいるかわからない状況です。お年寄りが暮らしにくい状況で地域で認知症を支える仕組みと意識啓発が必要と思いますが中城村において認知症対策はどうなっていますか。



安里 ヨシ子 議員

認知症支援について

福祉課長 認知症サポーター講座、各公民館で認知症予防のかかわり方を中心に研修を行っています。宜野湾署と認知症、高齢者の見守り安全支援に対する協定書を締結、見守りの充実を図っています。

議員 認知症、高齢者を抱えている家族は夜中に何度も起こされ、徘徊など家族は心身共に疲れ果て暴言とか虐待したり家族崩壊につながるケースも有りこれが子共に見える影響は計り知れないものがあると思います。子供の頃より人間が老いていく事、お年寄りを大切にすることをきちんと教えていく必要があると思いますが学校や、教育委員会ではどのようにお考えですか。

教育長 幼い頃から友達と仲良く楽しく過ごすと、いう事を学級経営と一緒に友達と仲良く過ごすというところから一番大切なスタートになるのかという事で認知症予防のスタートになる一つの方法かと考えています。



汚水の垂れ流しについて

議員 毎日海辺を散歩していると大潮の時に限って汚水が流されていて環境の悪化を心配する声が聞こえます。行政で調査し注意する事が出来ませんか。

農林水産課長 海岸線に立地する事業所からの排水かと考えますが、本村と事業所とは公害防止協定の締結をしており水質調査を年二回村の方に報告、排水基準を満たしており、中部保健所による立ち入り調査もあり、今後とも海岸・河川に関してもパトロールを実施し、県と連携し調査対応していきたい。



仲座 勇 議員

特定農地貸付の件

議員 村民が野菜や花等を栽培して自然に触れ合うとともに農業に対する理解を深めることに資するため特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律（平成元年法律第58条の規定）に基づき村民からの特定農地貸付の状況を伺います。

農林水産課長兼農業委員会事務局長 現在、そういった農園をつくってくれという村民からの要望も現在ありませんので、それとまた各家庭内でアタイグワ〜と申しますがなかなか役場のほうにもそういう施設をつくってくれという要望がないのです。

議員 下地区のほうで遊休地を使用して個人には貸さないけれども役場には貸すと思うのです。そのところを利用して、もう一度再考をお願いしたいと

思います。

農林水産課長兼農業委員会事務局長 現在耕作放棄地が課題になってます。現状としてはまだ整備してないことがあって、対策を行って、村民からの要望があれば、そういった施設をつくっていかなければならぬと思っています。

宅配業者の件

議員 見晴らしがよく穏やかな住民生活を朝早くから夜遅くまでその作業が続いている企業に、近くの住民が不安、混乱しています。交通安全対策の措置を行っていただきたいと思えますので所見を伺います。

村長 村としてもしっかりと精査をして、担当課のほうに指示をして対策を練っていきたく思っております。

住民生活課長

直接住民からの苦情は我々のところにはございません。営業時間が8時から9時までです。極力車両のアイドリングは夜間とか早朝は自粛するように今後また要請していきたく思っています。



議員 8月13日曜日9時頃に見てくれと言われ、現場を見たら4台がアイドリングをしているわけ。もうすごいですよ、それに建築も問題があると思うのです。やはり乗り降りする場所は表がいいんじゃないかと思っておりますし住宅地に向かっているわけ。地元の人はこちらこういう施設をつくらせることではないと言った話でした。

都市建設課長 今言っているのは幹線側に出口と言う話ですが土地の地主の使い勝手の話がありますので、これは役場のほうで許可できないことができないというのは問題はないと思えますので、それは現状の土地利用をやっています。



新垣 徳正 議員

**教育現場における
平和学習の取り組み**

議員 学校現場での平和学習の取り組みをどう評価するのか。

教育長 学校は学校経営計画に基づき平和教育の指導に関する年間計画を作成、その計画に従って平和教育を実践している、また各教科、道徳、特別活動、総合的学習の時間等、行事などを行っており評価できる。

**教え子を二度と
戦場に送らない**

議員 その教育理念をどう考えるか。またその事は教育の現場で実践できているか。

教育長 教え子を二度と戦場に送らないと言う事はもちろん私も賛成です。しかし、学校における平和教育は戦争だけではないと考えます。戦争の恐ろしさや命の大切さは勿論、人間としてやってはいけない事、いじめが無く、友達と仲良く学校生活を送る事が出来るなど指導を行っています。

**沖繩における反基地、
反戦運動と平和学習**

議員 “ガマ”での体験学習と同じように、米軍基地ゲート前での反基地、反戦抗議行動の様子を、生徒たちに見てもらい、それぞれ平和学習の一環として取り組む事は出来ないか。

教育長 その事を平和学習として取り組む事は考えていません。学校は基本的に中立の立場である事を考えると、基地の実態や平和の大切さを教えますが、基地

に反対するかどうかは保護者や本人の判断だと考えます。

議員 これまでの平和教育で戦争がいかに悲惨であるか、平和がいかに大切かを沖繩戦の実相を通して考え、伝えてきた事は大いに評価できるものだと考えます。

しかしながら、その平和をいかに構築していくかと言う所が、現行の平和教育で抜け落ちていいる所ではないかと考えます。

「二度と戦争が起きませぬように、いつまでも平和であります様に」と祈るだけの教えから、この平和な世の中を守り続けるにはどうしたら良いのか、その為に行えるのかを、学校現場に於いてしっかりと教えていく事が、此れからの平和学習に於いて、大変重要な課題だと思われれます。

教職員が決して“サイレントマジョリティー”（物言わぬ多数者）に成らないように期待致します。



宮城 重夫 議員

社会福祉事業

議員 指定就労継続支援B型事業所「きらり」に対する村行政の対応はどうなっていますか。事業内容は、どのような支援活動をしていますか。利用者は何名で、支援する職員は何名ですか。事業費の総額は幾らで、村からの助成額は幾らですか。

中城村障がい者地域活動支援センター「むつみ」に対しても同様の質問内容での答弁をお願いいたします。

福祉課長 「きらり」は障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として、県の指定を受けています。村内に同じような

A型、B型事業所が10ヶ所あります。「きらり」は現在の登録人数が15名、1日10名、14名程度が利用しています。職員は5名が常勤しています。石焼き芋・パンの販売・民間事業所の清掃作業・肥料販売等を中心に就労に必要な訓練として実施

しています。村からの支援として他の10ヶ所と同額で障害福祉の扶助費から月に約若干の動きはありますが約170万円を毎月支払っています。

地域活動支援センターむつみは、地域支援事業の必須事業として社会福祉協議会に村が委託しております。登録人数は16名程で1日3名多いときで10名程が利用しています。職員2名を配置し、アルミ缶のつぶし、手工芸、レク等を通じ地域との交流を図っています。今年度は822万2千円で村と委託契約を結んでいます。

議員 多様な活動していますが、アルミ缶をプレスする場所は日除けもないし、雨宿もない炎天下で作業をしている現状を改善できないでしょうか。

福祉課長 私たち福祉課が委託している「むつみ」に関して答弁します。私も何度か足を運びましたが、一応室内はバリアフリーになつてはいますが人数的に狭い部分もあると感じます。アルミ缶つぶしに関しては、コンクリートのひさは、ありますが真夏は太陽が当たり利用者にはふびんを感じさせる部分はあると

思います。根本的には全体的に敷地が狭いです。今、どんなことが出来るか社会福祉協議会の職員と今後協議をしていく予定です。

道路管理

議員 当間地内、村道吉の浦線と当間前原線が交差する付近で安里から役場方面に向かう時、街路樹の枝で吉の浦会館方面からの視界がさえ切られ、交通安全の面から街路樹の枝打ちは出来ないか。

村長 私も1カ月ほど前ご質問の交差点付近であわやという場面に遭遇いたしました。担当課がしっかりと応急処置で対処しています。

都市建設課長 道路利用者から連絡があり、現場を確認し街路樹の伐採を行いました。

応急処置前



応急処置後





外間 博則 議員

教育行政について

議員 小学校、中学校生徒の不登校やいじめ現状はどのような状況にあるか、伺います。

教育総務課主幹 平成29年度8月末時点での不登校については、小学校は0人、中学校は4人となっております。いじめについての発生件数は、小学校、中学校共3件となっております。

議員 只今の教育総務課主幹の答弁がありました。不登校やいじめをなくす為には、どう対処していく考えか、教育長に伺います。

教育長 不登校は年間30日以上休む不登校となります。また年度の途中ではございますが、現時点では去年よりは少なくなると予想しています。いじめについては、実際に本村でもいじめは数件発生しています。学校はいじめられた側の子供の精神

農業委員の選任について

的なケアはとても重要で大きな事案は臨床心理士であるスクールカウンセラーにつないで相談を行っています。さらにいじめた側の子供の指導も重要で、学校生活の過ごし方や再発防止に向けて保護者を交えて相談会を行っています。

村道潮垣線の交通安全について

議員 村道潮垣線は朝夕の交通量が最も多い道路の為、事故が起こりやすい状況にあります。また、小中学生の通学路としても利用されていますので、危険な状況にあります。交差点でのびだしによる事故が何度も起きていますが、その対策は。

村長 私自身の自宅も潮垣線沿いでございまして、議員が言いますように交通量の多さは身に染みて感じしておりますので、現在村としてもできる限りの対策と、それとここはどうしても標識関連などは警察関係になると思いますので、そこへの要請等はしっかりとやらせていただきたいと思います。

サトウキビの干ばつ対策について



新垣 善功 議員

議員 今年の夏は例年になく、厳しい暑さが続き降水量もほとんどなくサトウキビに水不足が深刻化している現状対策について伺います。

農林水産課長 対策につきましては、関係組織と連携し、サトウキビ生産農家に対して灌水資材の貸出及び浄化水の無料配布を行う準備をしております。

議員 今年度から検討されてきて、西原町は、平成29年度で町内ルートが国と決定されたが、本村のルートについての進捗状況はどうなっているか伺います。

粗大ゴミの不法投棄(ポイ捨て)対策について

議員 粗大ゴミの不法投棄、ポイ捨てが村内あちらこちらに見受けられますが、その対策と課題について伺います。

住民生活課長 津覇、伊舎堂駐在所と連携し、パトロー

新庁舎建設について

策を講じていますが、不十分で今後は、監視カメラの増設とモラルの高揚に努めて参りたいと考えております。

議員 村長に伺います。ゴミのポイ捨て条例を議会に提案する考えはないか。

村長 御提言は非常にすばらしいと思います。罰則規定も含めて真剣に早急に取り組んでいきたいと思っております。

議員 早急に議会に提案する様に。



国道329号バイパス道路建設の進捗状況について

議員 20年前から検討されてきて、西原町は、平成29年度で町内ルートが国と決定されたが、本村のルートについての進捗状況はどうなっているか伺います。

都市建設課長 西原バイパスは国で決定し調査を進めています。ルートについては和宇慶、津覇あたりが終点

になるかと思えます。

議員 庁舎建設場所は、9月1日の県の「泊・当間地区地すべり指定説明会」で地すべり被害が及ぶ地域内になつているが、再度検討すべきと思いますが、再度検討すべきと思えます。又、平面図に農業委員会の部屋がないがどういうことなのか。私の提案ですが職員自己啓発のための図書室を設けるべきと考えますが、村長の考えを伺います。

村長 場所の再検討は考えておりません。職員の図書室は、自己啓発の環境整備の意味から十分勘案させていただいて、より職員の資質向上に努めていきたいと思

議員 建設の用地は基本的には全部買収すべきであると思いますが、一部借地と言うことですが、更に地主と交渉して買収すべきと思

村長 基本的には議員のおっしゃる通りですが地主の都合で借地になっておりますが今後、交渉を重ね努力して参ります。



仲松 正敏 議員

**河川、排水路の
管理状況は**

議員 今年の6月19日の集中豪雨で河川の氾濫が村内各地域で起きたと聞いているが、河川の氾濫は何箇所でも所はどこか。それと被害状況は。

都市建設課長 6月19日の大雨時の道路冠水及び河川氾濫が7件となっており、場所については、久場1件、添石1件、屋宜1件、奥間2件、浜1件、津覇1件となり、奥間で4軒、浜で1軒の床上浸水を確認しております。

議員 集中豪雨があるたびに、毎回同じ箇所での河川の氾濫が起きていると思われるが、これから10月末までまだまだ台風が来る可能性があるが、大雨も考えられるので河川及び排水路の整備についてはどのように考えているか。

都市建設課長 以前から改善要望のあった村内4箇所「泊、伊舎堂、北浜、南浜」の排水流末の改善工事を県の

資材提供を受けて行っており、現地については今回の大雨で河川の氾濫等がなかったことから効果が見受けられませんでした。しかし、7件の河川氾濫が確認されたことから、今後も関係機関との調整を行い、維持管理強化、河川修繕を考えて予算確保に努めてまいります。

議員 北浜区の元比嘉商店付近の道路冠水については、平成26年9月定例議会でも私質問いたしました。村内各地域でも氾濫の原因となっている海岸線の流末部分の構造や、冠水域への一極集中的な水の流れが道路冠水の要因だと思えますが、元比嘉商店付近への一極集中的な水の流れを改善できないか。

農林水産課長 排水路の流れを分散することはできないかということですが、排水路の流末を分散することは、非常に難しいことでは、現場を調査したところ何箇所かクランクのほうで土砂が堆積しているということがありまして、それを取り除いていけば流末も流れはよくなるのではないかと考えられます。今後浚渫を行って、様子を見ていきたいと思っております。

高齢者福祉対策は

議員 介護保険制度の改正により、高齢者保健福祉・介護保険事業計画で大きく変わる箇所が出てきていると思えます。例えば、要支援の訪問介護、通所介護が介護保険の予防給付から外れ、市町村の地域支援事業への移行、それに伴うさまざまなサービスの創設に対しての施策は。

福祉課長 中城村も介護広域構成市町村と足並みをそろえ、平成28年度に総合事業へ移行しています。要支援者については、引き続き既存サービス、主にデイサービスが必要な方には利用できるように配慮しています。

議員 介護状態にならないための予防や認知症の予防については、多くの村民の皆様が「関心」を持っていると考えられます。地域全体で健康づくりが増進できるような、ソフト、ハード双方における環境の整備が必要であると考えますが、村の所見と今後の展開は。

福祉課長 厚生労働省の推計によると、将来65歳以上の5人に1人が認知症になると推測されています。中城村も認知症事務局を設置済みであり、認知症キャラバンメイト及び認知症地域支援推進員を配置し、認知症サポートー養成講座を実施しています。



新垣 貞則 議員

**久場地区の住み良い
まちづくりを図る**

議員 ①久場公民館前の排水路対策は。

②第1児童公園内（バックネット・遊具等）取り組みは。

③賀武道線のスリップ防止・地盤沈下等の対策は。

都市建設課長 久場公民館前の排水路対策は、側溝管理者となっている南部国道事務所と協議中であり、引き続き早期改善ができるように努めてまいります。遊具は今年度中に滑り台とウォールクライムを整備し、バックネットは利用状況を役場で把握して、必要であれば今議員がいったとおり、基礎に簡易的なネットを一括交付金でできないのであれば、短期施工で簡易ネットを検討する必要があります。賀武道線の地盤沈下は今道路は半分10cm、15cm位下がっていますので、この部分をか

**環境を整備して
人材育成を図る**

議員 中城中学校のグラウンド（砂場等）の整備と交通安全対策として、平成29年度の予算に交通安全対策費で200万円、歩行者安全対策費で460万円計上されています。この予算で校門の横断歩道から左右50メートルグリーンゾーンを設置する考えはないですか。

教育総務課長 学校側と調整を行い、砂場等必要な要望があれば整備計画を実施していきたいと考えています。

都市建設課長 交通安全対策事業は発注済みで予算は執行しています。もし教育委員会から依頼があれば来年の予算に計上していきたいと思っております。

吉の浦公園の施設整備は

議員 ウォーキングコースを全天候型にする。今、吉の浦公園整備基本計画に取り入れる考えはないですか。

教育長 この総合計画は、全てを網羅して機能強化をするということを考えてい

きたいと思っております。具体協の有識者の意見も取り入れ、総合的にウォーキングコースも含めて、整備計画を練っていききたいと考えています。



赤い所を全天候型コースにする

議員 私は全天候型にすることによって、たくさんの方がこの施設を利用して、生徒たちには競技力の向上、高齢者や大人の皆さんには健康を自分自身のスタンスで取り組み、自分自身の生きがいを感じる施設につながり、村民が手軽に利用できる、誰もがすぐ使える施設になると思います。村民が、ここに集い子どもからお年寄りまで憩える施設になり人材育成につながり、村民が主役、村民が住みたい村につながると思っておりますので、全天候型に整備してください。



仲眞 功浩 議員

教育の日制定

議員 本村も名実ともに「教育立村」を目指すのであれば、「教育の日」を制定し取り組むべきと考えるが、教育委員会としてはどう考えるか。

教育長 私も教育の日を制定したほうが良いと考え、村長、副村長には大まかな話をやっております。教育委員会の会議でも話し合いを持ち、制定に向けて進めて行きたいと思っております。

議員 県内いくつかの市町村が「教育の日」を制定しているのか。

教育長 平成28年12月時点で、17市町村（10市4町3村）が「教育の日」を制定しております。

議員 おとなりの宜野湾市、西原町、北中城村の状況はどうか。

教育長 3市町村すべてがすでに「教育の日」を制定しております。

議員 中城村も取組を始めたとの答弁がありました。早急な「中城村教育の日」の制定を強く要望します。

子ども達の表彰規定

議員 「教育の日」制定を機に、現職の教職員、子ども達のモチベーションを高める表彰規定も制定して頂きたい。

教育長 子ども達の活躍状況の表彰というのは私も全く同じ考えです。ぜひ取り入れていきたいと思えます。

貧困と将来の夢

議員 小学生、中学生の「将来の夢」の有無について、県調査と本村の調査の結果はどうなっているのか。

福祉課長 「あなたは将来の夢がありますか？」の質問に対し、本村の小学校の児童は県平均と同じ84%、中学生に関しては、県平均を6%上回る77%が「夢がある」と回答しております。

議員 これを、非貧困層と貧困層に分けて見ると、小学校と中学校ではどのような変化があるのか。

福祉課長 非貧困層では、小学生81%から中学生73%とマイナス8%、貧困層では、小学生90%から中学生は67%とマイナス23%、逆に、将来夢がないと答えたのが、非貧困層では小学生16%から25%と8%増加、貧困層では、小学生10%から中学生になると29%と19%の増加と、成長するにつれて夢がなくなっている残念な結果になっております。

給付型奨学金の導入

議員 この結果を私も大変懸念しております。これは将来「貧困の連鎖」を引き起こす可能性があります。そこで、貧困にある子ども達が夢を持てるように、高校・大学への進学を支援する「給付型奨学金」支給制度の導入を強く要望します。

※他に世界遺産「中城城跡」及び周辺の整備についての質問がありました。



平成29年第5回中城村議会臨時会

平成29年10月25日(水)

平成29年度中城村一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,788万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ76億7,028万7千円とする。

可決

議案第45号

久場前浜原線建設工事(3工区)請負契約

可決

議案第46号

可決

議案第47号

吉の浦会館備品購入事業契約

村道中城城跡線改良舗装工事(9工区)改定契約

可決

議案第48号

承認

承認第3号

専決処分の承認を求める平成29年度中城村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ671万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ76億5,239万9千円とする。

採択

意見書第7号

普天間基地所属CH53E大型輸送ヘリコプター不時着炎上事故に関する意見書

採択

決議第4号

普天間基地所属CH53E大型輸送ヘリコプター不時着炎上事故に関する抗議決議

町村議会正副議長・正副委員長研修会

とき：平成29年8月8日 ところ：北谷ニライセンター

沖縄の子どもの貧困問題の解消に向けて

講師：喜舎場健太氏
(沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課課長)

子どもの貧困率は全国13.9%沖縄県29.9%となっており全国の2倍以上の貧困率となっている。さらに小学校、中学校、高校の不登校児童数も全国で最上位にランクされており沖縄の子どもの貧困問題は深刻な状況にあります。対策事業として国、県、民間による「給付型奨学金、支援員の配置、居場所の設置、就学援助の充実等、沖縄県としては2030年までに子どもの貧困率10%を目指し、子どもが夢や希望を持って成長していける社会の実現を目指しています。

災害時における議会の役割・対応

講師：新川達郎氏
(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)

近年、日本でも多くの災害が頻繁に起こっている。災害発生時には県市町村行政は災害対策本部を立ち上げ、緊急な対策、2次災害の予防等、住人の生命、財産を守る行動がマニュアル化されています。議会としても行政と連携しながら、住民の安全が確保できるように組織体制の構築が必要になってくる。

中部地区町村議会議員・議会事務局職員研修会

とき：平成29年8月18日
ところ：読谷村文化センター

議員政務活動費について

講師：石垣安秀氏
(沖縄県町村議会議長会会長)

近年、政務活動費の不正使用が度々報道され問題になっていきます。政務活動費は県内外、先進地の視察研修を行い、条例の制定、予算の議決等、重要な権限が議会にあるため、その役割を担うには行政を監視し、政策を提言する機能の強化が不可欠です。村内においても農業、教育、観光、福祉等、多くの課題を提言すべく効果的に活用し、住民福祉の向上に繋げて行きたいと思えます。



題字提供 ありがとうございます!



題字募集!

「ぎかいだより」の題字の募集をします

中城村の児童・生徒のみならず、上手も下手も関係ありません! あなたの字のままでもいいんです。

お問い合わせは
中城村議会事務局
(☎098-895-4318)まで

編集後記

2017年も多くの足跡を残し終わろうとしています。

1月のハチウクシーに始まり、毎月色々な行事があり、あつという年の末になりました。

議会では、去った9月の定例会で、平成28年度決算を認定し、村民サービスの実施状況を確認しました。一般会計、6つの特別会計がそれぞれ審査されました。

28年度は、護佐丸歴史資料図書館建設もあり、人口2万人超えも達成し、子育て支援を先頭とした各種事業がありました。

また、平成32年度完成を目指し、役場新庁舎計画がスタートしました。29年度で基本設計・実施設計、30年度で工事着工となります。

平成29年度も多くの事業が予算化されて進められています。そして私たち議員もこれらの事業を注視しつつ、あらゆる角度からの意見や提案を行い、さらなる村民サービスの充実を図っていきます。

石原昌雄



議会だより 編集委員